



ゴードンR.マッキナリー会長

酒井法丈ガバナー

山本雅久会長

RIテーマ

地区方針

クラブ方針

CREATE HOPE in the WORLD  
世界に希望を生み出そう

培おうプライド、育もうブランド、  
そして未来へ!!

輝こう! 豊橋ゴールデンロータリークラブ  
～我がクラブの志と共に～

第18回(通算1632回)例会報告		令和5年11月24日(金)	ロータリー財団担当例会
ゲスト	地区補助金委員会 委員 久保田充三氏		
出席報告	総会員数57名(計算会員数49名) 欠席11名 出席率77.55% 前々回修正出席率82.22%		
歌/会場	それでこそロータリー	会場: ロワジュールホテル豊橋 30F「ル・モン」12:30～	

## 会長の時間

山本雅久会長



皆さんこんにちは今日は国際ロータリークラブ会長ゴードン R. マッキナリーが提唱しているメンタルヘルスに取り組もうを考えてみました。11月

5日の社会奉仕委員会の担当例会が行われおおくのクラブ会員、一般公募から集められた50名の小学生たち、父兄の皆様のご協力で学多き活動ができたことを御礼申し上げます。多くの人が参加、協力して子供たちに学びの場があった得ること、そして学び学習することの意味が大切なことと考えます。ありがとうございます。またロータリークラブは全世界に123か国の人々と共に平和と病気の無い世界を目指しています、ロータリアン一人一人が取り組む課題と考えます。そして本日の卓話をさせていただくロータリー財団の久保田様です、どうか財団を理解できるように講義をお願いいたします。

来月の年末家族会の参加者が72名です、もう少しの参加をご協力をお願いいたします。有難う御座いました。

## 誕生日祝い

お誕生日おめでとうございます!

真野善和会員



## 入会記念日祝い



山口幹夫会員



大須賀憲太会員 石原聖季会員

## 会員スピーチ

「私が今まで育んできたこと」  
「私が現在育んでいること」  
「私がこれから育んでいきたいこと」

富田正行会員



会員スピーチの時間いただきありがとうございます。本年6月に前年度例会でスピーチの時間をいただき半年もたっていないのでつまらない話になってしまうかもしれませんがお許しください、お題は「育んできたもの」私が現在の仕事「建築家」の道を選択したのは高校二年の時でした、隣の静岡県三ヶ日町で農家の次男、越境入学で豊橋の高校へ毎日楽しく通っておりましたが、将来の職業選択をするにあたり人が生きていくに為に何が必要なのかを考えた末「衣、食、住」に関する仕事は未来永劫続くのでは、その中の「住う」建物の設計を試みたいと思いました。きっかけは丁度その年我が家のミカンの貯蔵倉庫を公民館の立替と重なり構造材を再利用して建てることとなりついでに二階の間を私の部屋としてくれることとなり夏休みを挟んで約二カ月お年寄



りの大工さんの手助けをしながら自分の部屋を作る作業をする機会がありました、その時の建築作業の面白さを体感したのが一番のきっかけでしたが、その前後に見に行った映画館「黒部の太陽」「超高層の曙」にも影響されましたが、その結果の今日です。29歳で事務所独立開設しておかげさまで建築設計事務所として45年間続けてくることができました。

ロータリークラブには15年前2008年、58歳の時入会させていただきました、遅掛けの入会だったので毎年お役をいただき、実にいろいろ経験させていただいた15年間でした。

そうこうしているうちに2019年の6月、お茶会の席でお菓子をいただいて飲み込もうとするとのどの奥で何か引っかかる違和感がありました、気になり病院へ行き検査、胃と食道の接点に腫瘍が見つかりステージⅢ若しくはⅣの悪性腫瘍と診断され、余命5年宣告までいただきました。結構ショックでしたが未だやり残したことが多く、その年の秋11月に愛知癌センターで切除手術を受けその後の経過も順調に4年が経過して無事こうして元気に生活させていただいております。癌はすでに不治の病ではないとの確認と現代の医療と抗がん剤治療の進歩には感心させられる日々でした。

その大病というか試練というおかげで私自身のこれまでの生活、今後の生き方をじっくり考える時間を与えられたこと、コロナのおかげでロータリークラブ、仕事に対する考え方を冷静に客観的に見ることができたことに感謝しております。ほとんど趣味と思っておりますSDG's 建築、二川大脇町のコルゲートハウス及びフードフォレスト、やっと建物は出来上がってまいりました、本日皆様のテーブルに中日新聞夕刊の一面を置かせていただきましたのでご覧ください、温室のバナナ栽培、トロピカルフルーツの栽培、それを使った温室レストラン営業、広い敷地には栗、桃、レモン、柑橘類、露地畑では各種ハーブ栽培、大豆の栽培と収穫後の納豆、みそ、豆腐加工ワークショップもしていきたいと思っております。40代から始めた茶道、60代から始めた合気道、豊根村のお茶栽培、蕎麦の栽培、最近始めたピアノでショパンのノクターン演奏 etc。「病は気から」と先人たちの教えにあります通りストレス、不快と感ずることはなるべく避けて今後の余生を無理せず、自分のやりたいこと、伝えたいことを気の合った仲間と楽しみながら育ていこうと思っております、今後もよろしくお付き合いお願いいたします。



金子通信会員

皆さんこんにちは。金子通信です。  
「私が現在育てていること・大切に育てる心を育てること」についてお話しさせていただきます。

皆さんも大切にしている物があると思います。もちろん私にもあります。今回はその中で仕事での大切なパートナーである生産設備についてお話しします。

我が社の主な生産設備にCNC自動旋盤という工作機械があります。

高精度で複雑な精密部品加工を得意とし、最新機種から20年以上頑張っている機種まであり、24時間・自動稼働をしています。機械にも命があり、メンテナンスをしていくことで性能を長期間維持することが可能となります。

日常点検や整備などは行っている、日々生産に追われていると忙しさに紛れ、清掃管理などが後回しになりがちな場合があります。

生産設備は古くなると油やけや使用感により激しく傷んでしまいます。

現在取り組んでいることに生産設備を大切にすることにより技術を養う活動があります。技術者教育として主に外装を中心としたオーバーホールから再塗装などを行います。一台につき2週間ほど生産を中断し分解・点検・修理・清掃・再塗装を行います。

まず自分が実践し、社員に拡大し機械を大切にすることを育てています。

今年は特に活動しておりますが、おかげさまで機械も綺麗になりました。何よりも社員が自ら作業してきたことにより、機械の構造を理解し、大切に育てる心が育まれました。生産設備も大切な一員です。まだまだ続けこれからも育てていきたいと思っております。

ファイヤーサイドミーティング報告



神谷 馨ロータリー情報委員長

テーマ 40周年に向けて夢を語るをもとに意見交換を行い、会員相互の理解と親睦が深められたと思っております。例会では語れない会員のお話がこの事業の大切な部分だと感じました。



ご参加いただいた皆様のご協力に感謝いたします。

開催日時・参加人数 9/25 8名、9/27 8名、9/28 13名、  
9/29 12名、10/23 5名  
計 46名参加

会場 街中華 古来や

## ロータリー財団担当例会 ー 財団をクラブ活性化に ー



### 岡本久永ロータリー財団委員長

皆様こんにちは。本年度ロータリー財団委員長の岡本久永です。

本日は「ロータリー財団担当例会です。講師の紹介をさせていただきます。

豊橋クラブの久保田充三様です。地区の補助金委員会の委員を2022-23、2023-24と2年に亘りお務めされております。豊橋クラブでは、社会奉仕委員長、親睦活動委員長を務めておりました。職業分類としまして紙卸売、(株)久保田紙店の代表取締役社長として会社経営にがんばっております。

私的なことですが久保田充三氏のお父さんとは私、40年来の友人としてお付き合いをさせていただいており充三氏とは良いめぐり合わせと喜んでおります。

本日のテーマ『財団をクラブ活性化に』です。

よろしくお願いいたします。



### 地区補助金委員会

#### 委員 久保田充三氏

2760 地区ロータリー財団 補助金委員会の久保田充三と申します。豊橋ロータリークラブから出向しております。

豊橋市で株式会社久保田紙店を営んでおります。職業分類は紙卸売です。自己紹介を兼ねてロータリー財団委員会のご紹介を致します。ロータリー財団委員会は、役割に応じて5つの小委員会に分かれています。ざっくり言うと上の2つが資金を集める委員会 下の3つが資金を使った事業を行う委員会になります。私は補助金委員会に出向しております。

本日は、ロータリー財団月間にあたり、皆さまからの大切なご寄付がどのように使用されているかを説明し、ロータリー財団へのご理解を深めていただけるよう卓話をさせていただきます。どうぞ宜しくお願い致します。今回の卓話では皆様に4つのお願いという事で、1.寄付の

お願い、2.補助金活用のお願い、3.グローバル奨学生、平和フェローご紹介のお願い、4.ロータリーカード入会のお願い、このような流れで進めていきたいと存じます。

1917年6月18日、ヨーロッパで戦火が荒れ狂うころ、米国ジョージア州アトランタで開かれた第8回ロータリー年次大会で、「世界でよいことをする」ための基金の設置を、アーチ・クランプ会長が提案しました。その1ヶ月後に寄せられた、26ドル50セントの寄付で始まった基金は、1928年に正式に「ロータリー財団」と命名され、管理委員会が創設されました。

改めてこのロゴをご覧ください。向かって左が国際ロータリー、右がロータリー財団です。国際ロータリーは、皆さまの会費で運営しています。今年度国際ロータリーの2023-24年度の人頭分担金=会費ですが、金額はご存じですか？75ドル、120万人で9,000万ドルになります。来年度2024-25年度の人頭分担金額 78.5ドル、さ来年度2025-26年度の人頭分担金額 82ドルとどんどん上がってきています。

では、ロータリー財団ではどうでしょうか？ロータリー財団の財源は世界から集められた皆様のご寄付のみで運営、事業を行っております。

この図は一昨年、21-22年度の一般管理等含めたロータリー財団の支出を表したグラフです。このように支出全体は、3億3,000万ドル、その中でポリオプラス事業、グローバル補助金等奉仕事業のプログラム補助金と運営費で2億9,400万ドル支出の89%になります。

他の団体では事業本体の支出が、6割から7割に比べると、いかに大きく事業費に回しているかがわかります。

ロータリー財団は、2022年2月に、米国の慈善団体の格付けを行う独立機関であるチャリティーナビゲーターから、15年連続で最高の四つ星評価を受けました。この評価は、ロータリー財団が透明性を重視し、責任ある管理を行っていることを認められたことによるものです。

シェアシステムの説明をしたいと思います。要は、財団に集まった寄付をロータリアンの奉仕活動を行う時には、みんなでシェアをしましょうという事です。これによって大きな事業も可能になります。

皆さんからの寄付は、3年間投資され、その収益が財団の運営に活用されます。

ここに「3年前の」と書いてあるのは、そのことで、プラスの時もあればマイナスの時もありますが、ならずと、だいたい6%くらいの利益を上げています。



こうした資金の 50%が地区財団活動資金 (DDF) として残り 50%として国際財団活動資金 (WF) となります。これは、この金額がそのまま戻ってくる訳ではなく、使う権利があるという事です。そのため、地区補助金については、地区は1ロータリー年度につき1回申請を提出することができ、残金はすべてグローバル補助金に充当します。

一昨年度の 2760 地区では財団寄付を約 80 万ドル集めています。昨年は 70 万ドルでした。したがって、再来年 2025-26 年度は、使えるお金が減ることになります。

また、シェアシステムの資金モデルが 2021 年 7 月に変更となり、これまで「25%ルール」と言っていたものが、次年度 (2024-25 年度) から、ロータリー財団の運営費が 5%かかることになりました。これを負担するために、地区活動資金補助金 (DDF) 2.5%国際財団活動資金 (WF) 2.5%ずつ減って資金モデルが少し減って地区補助金は 23.75%となります。

ここで突然なのですが、毎年、このように卓話訪問をさせていただいていますが、地区の財団委員が訪問して卓話させていただくのは、今年が最後です。

来年度から、各クラブの財団委員長が、財団セミナー等で聞かれた話を、クラブの皆さまにしっかりお伝えする機会として、11月の財団月間を利用していただきたいと考えました。

11月の財団月間のために、2024年4月7日 地区研修・協議会、2024年8月2日 財団セミナー、10月頃に名古屋地区・西三河地区・豊橋地区それぞれ1回ずつ相談会を設けたいと考えています。ご出席をお待ちしております。

日本では有史以来の文献に記述がなく、明治時代以降に海外から入ってきた疾患であるとの説が有力でしたが、日本の縄文時代の入江遺跡の人骨からポリオの痕跡がみられたとの報告もあり、その間の経過に関しては実はよくわかっていません。

しかし、1940年代頃から全国各地で流行がみられ、1960年には北海道を中心に5,000名以上の患者が発生する大流行となりました。そのため、1961年に生ポリオワクチンを緊急輸入し、一斉に投与することによって流行は急速に終息しました。

ポリオウイルスは、人の口の中に入って、咽頭や腸の中で増えることで感染します。増えたポリオウイルスは、再び便の中に排泄され、この便を介してさらに他の人に感染します。

神経系を侵し、場合によっては死に至る病ですが、現在に至るまで明確な治療法はありませんが、ワクチン接種によりポリオの発症が予防できることはわかっています。そのためワクチン接種が推奨されています。

ロータリーがポリオの根絶を目標に定めた時には、ポリオの根絶などは夢物語だと思われていました。しかし、1985年から「ポリオプラス」プログラムを開始し、1988年にはWHOと共に「世界ポリオ根絶推進活動」を立ち上げ、ポリオのない世界のために、先頭に立って活動してきました。こうした活動が実を結び、1988年に35万人いた感染者ご覧のように激減したわけです。

皆さん、毎月発行されている財団室 NEWS は読んでいただけていますか？ここには、「ポリオウイルスによる症例数」が記載されています。

ポリオの常在国はパキスタンとアフガニスタンの二カ国となりました。ポリオは我々には関係ない病気なのでしょうか？そんなことはありません。ニューヨークとロンドンで、下水からポリオウイルスが検出され、アメリカでポリオ罹患後の神経麻痺を認めた患者が発生し、8月にはロンドンでポリオワクチンのブースター接種が行われました。これらは、ポリオがまだ『過去の病気ではない』ことを意味しています。すなわち、私たちの子供や孫たちも、今後ポリオに罹患する危険性がゼロはでないということなのです。

発生者が激減しても多大な寄付が必要な訳は、ひとりでも感染者がいたら、新生児4億人に必ず予防接種しなければいけません。ポリオワクチン予防接種はすべての国で行っています。この危険性を限りなくゼロに近づけるためには、世界中でポリオの野生株を根絶させることが一番重要なのです。これが達成できない限り、世界中でポリオワクチンを打ち続けていく必要があります。毎年このために、各国で、あるいはロータリーから多額の資金が拠出されているのです。ウイルスに国境はありません。対策しなければ、10年間で20万人が罹患します。また、ワクチンは冷やして届けなければいけません。これをコールドチェーンと呼ばれ、ずっと維持しなければなりません。これは、COVID19のワクチン配送でも役に立ちました。紛争地域でのワクチンデリバリーには、インフラが整っていないため、通常よりも多額の資金が必要です。ウクライナの接種率が紛争で低下しました。

では、もし根絶が達成されたらどうなるのでしょうか？日本では、1回あたり約5,000円×4回、子ども1人に約20,000円、毎年160億円ものお金がポリオワクチンのた



めに費やされています。ポリオが根絶され、この資金が不要となれば、例えば子育て支援、あるいは出産費用の助成金など、さまざまに振り分けことができます。

たやすく根絶できると考えていたけれど、1979年のフィリピンにおける事業から関わり、すでに35年以上にわたり活動を行ってきており、資金も22億ドル以上かけてきました。

ポリオが根絶されれば、人類にとってこれ以上ない貢献となります。毎年ロータリーでポリオに使う1億5,000万ドルがフリーになり、日本では、ポリオ不活化ワクチンに使う160億円が不要になります。10月27日金曜日、豊田カントリー倶楽部において、ポリオ根絶チャリティーゴルフコンペ2023を開催いたしました。清々しい秋晴れのもと、ガバナーをはじめ、117名の皆さんがチャリティーに参加され、集まった寄付金は611,000円と、予想を超える金額となりました。ご参加くださった皆さまには心より感謝申し上げます。次年度も、世界ポリオデーにあわせ、チャリティーゴルフコンペを予定しています。日程等が決まりましたらお知らせいたしますので、皆さま奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。

2023-24年度財団目標は、年次基金寄付お一人あたり150ドル以上、ポリオプラス寄付お一人あたり30ドル以上をお願いしております。ポリオプラス寄付では5000万\$集まれば、ゲイツ財団から1億\$提供されます。寄付も奉仕です！本年度2023-24年度2760地区のロータリー財団寄付の目標は、年次基金おひとり150\$以上ポリオプラスおひとり30\$以上です。恒久基金、クラブでベネファクター1名または、1000\$以上です。2022-23年度では、恒久基金に寄付されたクラブは35クラブありました。

皆さんからのご寄付は、すべて、財団本部で管理しています。昨年度2022-23年度貴クラブより年次基金おひとり92.73\$ ポリオプラスおひとり19.94\$ 恒久基金は0\$でした。ご寄付ありがとうございました。

2023-24年度財団目標として、ポール・ハリス・ソサエティ (PHS) ポリオプラス・ソサエティ (PPS)を増やしたいとお願いしております。会員個人で入会しますが、「ポール・ハリス・ソサエティ」とは、毎年1,000ドル以上を、年次基金またはポリオプラス基金に寄付することを約束された方を認証するためのプログラムです。「ポリオプラス・ソサエティ」とは、ポリオ根絶まで、毎年100\$をポリオプラス基金に寄付する事を約束された方を認証するためのプログラムです。一年間で約15,000円、私も入会

しております。マイロータリー、地区大会やRFF等財団でブースを出している時にご寄付を受け付けております。是非ご入会をお願い致します。

続きまして、お願い2の地区補助金についてお話ししたいと思います。地区補助金は、地元や海外の地域社会のニーズに取り組むための、比較的規模の小さい、短期的な活動を支援する補助金です。豊橋ゴールデンRC様では、本年度「絶滅危惧動物園 出前講座にいざ出陣！」というタイトルで豊橋動植物公園にて環境教育の事業を終えたところで報告書制作中というところでしょうか？報告書楽しみにしております。リーフレットにも2760地区内の補助金事業が掲載されていますので、ご覧ください。

先ほども説明した通り、次年度2024-25年度は、2021-22年度の年次基金寄付額の23.75%が補助金申請可能額になります。クラブの拠出金は0でも構いません。

申請要件としては、ロータリー財団の使命に沿っていること、ロータリー会員が積極的に参加することが大切です。特定の人、団体、地域社会に対する継続的または過度の支援、募金活動、ロータリー行事に関連する経費、受益者や協力団体への使途無指定の現金寄付、この事は補助金を受領する活動では、これらを行うことはできません。この事に注意して計画を立ててください。詳細は『地区補助金授与と受諾の条件』をよくお読みください。

また、ローターアクトクラブもロータリーの一員として、補助金が利用できるようになりました。ただ、ローターアクトクラブは3年前に寄付をしていません。提唱クラブの「申請可能額」の一部を使用して頂く事になります。提唱クラブと相談をして下さい。

2023年12月、次年度地区補助金事業の予定に関するアンケートを実施します。より大きな事業をやりたいと思うクラブには、使わないクラブの補助金枠を使えるようにしたいと思います。ただし、これは『共同事業』に限ります。情報は伝えますが、マッチングについては関与しません。2024-25年度の事業構想を練ってください。

3つ目のお願い、グローバル補助金奨学生についてです。グローバル補助金の海外の大学院で、ロータリーの重点分野のいずれかに該当する分野を専攻する方を対象とした、返済不要の奨学金を給付するプログラムです。以前はどのような分野でも奨学金を申請することができましたが、未来の夢計画導入によって、ロータリーの重点分野に限定されました。実務経験は不要です。皆様ご存じの日本人初の国連難民高等弁務官をつとめられた、緒方貞子さんや軍縮



担当国連事務次長の中満泉さんもグローバル補助金奨学生でした。

平和フェロシップについてです。平和を愛する人達のためのネットワークを構築するためのプログラムです。ウクライナ、ロシアでの紛争、イスラエルとパレスチナ、ガザ地区の侵攻等、今本当に必要とされている人材だと思います。こうした人材育成にもロータリー財団のプログラムが続いております。

ロータリー平和センターは7つあり、8つの大学に設置されています。このうち、5つのセンターでは、平和と開発に関する修士号取得プログラムを提供しています。デューク大学およびノースカロライナ大学チャペルヒル校（合同で一つの平和センターを運営）（米国）国際基督教大学（日本）ブラッドフォード大学（英国）クイーンズランド大学（オーストラリア）ウプサラ大学（スウェーデン）マケレレ大学（ウガンダ）の平和センターでは、平和と開発に関する準修士号を提供しています。オンライン学習、教室での授業、社会変革イニシアチブを合わせた1年間のプログラムが実施されます。マケレレ大学の開設にあたっては、2760地区が大きく関与しています。タイのチュラロンコーン大学の平和センター2023年8月で閉鎖となりました。新たに、トルコ・イスタンブールのバチェシエヒシュ大学が、2024年2月に最初の申請を開始し、2025年1月までに第一期生を受け入れる予定です。ロータリー平和フ

ェローの申請には、3年以上の実務経験が必要です。グローバル補助金奨学生、平和フェローとも、志が高く、優秀で該当するような方が近くにいらっしゃればご紹介頂きたいと思っております。

最後4つめのお願いロータリーのクレジットカード入会のお願いです。リーフレットをご覧ください。カードで2万円のショッピングをすると、0.3%=60円自動寄付されます。

2022-23 ダイナースクラブカード利用実績です。クラブカード106,626,000円、委員会カード4,123,000円、地区カード9,461,000円、2760地区合計で120,210,000円分利用されています。ちなみに日本全体では、2,573,270,000円利用されています。入会費・年会費は無料です。このクラブカードを「例会費」、「人頭分担金」、「財団寄付」の支払い等必ずかかる経費に対して是非使って欲しいと思っております。今年度は、クラブカードの他に、もう一枚地区補助金事業用として、ネット等での支払いに利用できる「地区補助金専用口座に紐づけしたカードを作成してください」とお願いしています。

最後にクラブの活性化にロータリー財団を是非ご活用ください。そして、財団に寄付したものがどのように使われているかご理解頂き、おひとり150\$ポリオプラス30\$にご寄付頂きます様、何卒、宜しくお願い致します。ご清聴ありがとうございました。

★ニコボックス

久保田充三様(豊橋)：ロータリー財団の卓話をさせて頂き。よろしくお願ひ。  
 山本雅久・高井龍雄：本日は、岡本ロータリー財団委員長、講師の地区補助金委員の久保田充三様よろしくお願ひ。  
 松島弘和・高井龍雄・高橋哲也・村松 光・石原聖季・酒井正樹・鈴木雅人：ようこそ！久保田充三さん！！  
 真野善和：誕生日をお祝ひ頂ひ。  
 大須賀憲太・山口幹夫・石原聖季：入会記念日をお祝ひ頂ひ。  
 神谷 馨：ファイヤーサイドミーティングの報告をさせて頂ひ。ご参加ありがとうございました。

富田正行・金子通信：会員スピーチをさせて頂ひ。  
 岡本久永：ロータリー財団担当例会です。講師の紹介をさせて頂ひ。  
 高井龍雄：代理で出席報告をさせて頂ひ。  
 杉田和俊・本多英司：昨年度の年次報告書ができ、配布させて頂ひ。  
 西郷隆治：三河市民オペラがJASRAC音楽文化賞を受賞しました。クラブ20周年記念事業「カルメン」の運動はまだ続ひています。  
 高井龍雄：前週はインフルエンザで欠席をし、申し訳ありませんでした。鬼頭次年度幹事代行ありがとうございました。光生会病院で予防接種をおすすめします。  
 鵜殿健次：ニコボックスの発表をさせて頂ひ。  
 鵜殿健次ニコボックス委員

★幹事報告

・シンガポール国際大会ガバナーナイト登録のご案内、春日井RC55周年記念講演のご案内、豊橋RAC12月第2例会のご案内が届ひております。

★他クラブの例会変更

- 12月12日(火) 宝 飯 RC クリスマス例会
- 12月13日(水) 渥 美 RC クリスマス家族会
- 12月14日(木) 田 原 RC まちなかサイクリング